

子どもたちは、あっという間に変わります



11月4日(金)、遠く吾妻山の西の方の山は、上の方が少し白くなっています。雪が降ったようです。空気も澄んで、息をするとからだ全体が引き締まってくる感じがします。

小学校は運動会の繰り替え休業日で、お休みです。校庭には誰もいません。

「寒いね、飛ばされちゃう！」と言いながら、年少組の子どもたちが、さっそく小学校の校庭に出かけていきました。

女の子が、プラタナスの大きな葉っぱやイチョウの黄色い葉っぱを拾って、大喜びで担任の先生に見せに来ます。大きなジャングルジムの一番上まで登って、「ぜんぶ、見える！」と、はしゃいでいる子もいます。小学校を独り占めしているようで、嬉しくてしかたがないようです。幼稚園の子どもたちにとって、小学校の校庭はやっぱり憧れの場所です。

さっそく鉄棒のところで、逆上がりの練習をする補助板を見つけた子どもたちは、小学生がやっているのを思い出して、鉄棒にぶら下がって、トントンと板を駆け上ってみます。

先生に「おへそを鉄棒につけるんだよ。」などと教えてもらいながら、女の子がその補助板を何度か駆け上がるうちに、クルンと逆上がりができてしまいました。「逆上がりできた！」とその子はうれしくて何度も、友だちにやって見せています。

また別の男の子は、鉄棒にぶら下がって、「怖い！こわいよ。」と言っていました。先生に少し足を持って引っぱってもらおうと、その子もクルンと逆上がりができてしまいました。そしてその子は「ねえ、ねえ。見て、見て。逆上がりやってみるから……。僕できるんだよ！」と嬉しそうにみんなに見てもらっていました。

子どもたちは何でも素直に受け入れるので、何かきっかけがあると、あっという間にできるようになることがあります。子どもたちは、あっという間に変わります。成長します。

そのときに、子どもたちが持っている力を引き出すようなちょっと工夫された「環境」があったり、何でも話せる「友だち」が周りにいたりすることがとても大事なのだと思います。そして優しいまなざしで見守ってくれる「先生」がそばにいてくれたらどんなに楽しいかわかりません。

「子どもたちが、いつ、どう変わるのか、成長するのか」、子どもたちを信じて待っているのはとても楽しいことだと思っています。

